

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会（第25期・第10回）
議事要旨

1 日 時 2022年8月31日(水) 15:00～17:30

2 方 法 オンライン開催 (Zoom)

3 出 席

委員：小林傳司、馬奈木俊介、狩野光伸、古谷研、沖大幹、三枝信子、春山成子、
植松光夫、江守正多、大手信人、春日文子、神原咲子、香坂玲、近藤昭彦、近藤康久、
杉原薫、竹中千里、谷口真人、中村尚、氷見山幸夫、村山泰啓、渡辺知保、安成哲三
事務局：小山堯
欠 席：高村ゆかり、小池俊雄、蟹江憲史、福士謙介
傍 聴：小宮泉・三村恭子 (JST/RISTEX)

4 議題等

- 1) 10月9日の学術フォーラムについて
- 2) 9月のフューチャー・アース全体会合@Paris について
- 3) 日本におけるフューチャー・アースの連携強化と推進について
- 4) その他

5 配布資料

資料1：学術フォーラムポスター（案）
資料2-1：Assembly draft agenda
資料2-2：FE 総会日本からの出席者
資料2-3：日本における Future Earth 活動の紹介
資料2-4：日本学術会議からの旅費支援
資料2-5：Future Earth Mail - [futureearthjall] SRI2022 がオープンアクセスになりました
資料2-6：Sustainability Research and Innovation Congress in Numbers _ SRI2022
資料3：RISTEX の TD 研究／総合知に関する取組について

6 議事内容

1) 10月9日の学術フォーラムについて

三枝委員より、10月に開催予定の学術フォーラムの準備状況について資料1に基づいて説明があった。当初パネル1のモデレータを依頼していた山極氏が都合により参加できなくなったため、大手委員に依頼したこと等が報告され、その後質疑応答が行われた。

2) 9月のフューチャー・アース全体会合@Paris について

春日委員より、9月にパリで開催されるFE総会について資料2-1～2-6に基づいて説明があった。今回は初の現地対面方式を含む会議であり、日本からは現地参加（ポスター発表を含む）とオンライン参加を予定している。あわせて、日本学術会議に対して海外からの参加者

に対する旅費支援の依頼があったことも報告された。

3) 日本におけるフューチャー・アースの連携強化と推進について

小林委員 (RISTEX センター長) より、主に JST による TD 研究と総合知に関する取組について講演があった。地球規模課題を扱う TD 研究における日本の強みと課題を可視化する試みを行ったことや、RISTEX はローカルな課題を主に支援しているが、これをグローバルに展開していくことについて考える必要があることなどが報告された。

講演に続いてグループ討論を行った。討論のテーマは下記のとおり。

- ・地域に特化した研究資金の積み重ねでよいか、世界・地球を対象としたプログラムが必要か。
- ・FE 的な TD 研究では、研究者は地域コミュニティや政策に深く関与し、時として責任を持つべきか、それは避けるべきか。
- ・Science for Society には政府は好意的だが、FE 的研究をしようとしている研究者側に、Science for Society といったマインドは十分に浸透しているだろうか。
- ・最初から社会実装を意識したプロジェクトを構想できるのか。
- ・RISTEX では FE 的、少なくとも TD 研究は相変わらず推進しているが、日本における FE 的研究はなぜ盛り上がらないのか。実はそれなりに振興している。

最後に全体討論を行った。TD 研究はそれなりに進んでいるという考え方もあるが、研究者だけの考えで進めるのではなく、その研究を行う意味を最初から社会と共有しながら進めることが重要であるという意見や、社会に役立つ研究だけではない TD 研究についても考えるべきといった意見が出された。

4) その他

特になし